NIE実践報告

1．タイトル：受信・発信・ＮＩＥ

2．学校名

徳島市川内中学校

3．実践者名（代表者名）

立石ユキ

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習　１６５人（３３人×5クラス）

6．単元（本時の学習課題）名

沖縄から学ぼう

7．目標（狙い）

沖縄の地元紙と全国紙を読み比べることを通して、現代を生きる人々が沖縄戦をどのようにとらえているかを知る。そのことを通して、自己の生き方・他者や社会との関わり方を考えさせる。

8．評価の視点

沖縄戦から学んだことを通して、平和について身近なところから解決に取り組もうとする態度が身についたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

沖縄について知ろう	（２時間）	沖縄から学ぼう	(８時間)
新聞から学ぼう	（１０時間・本単元）	沖縄について知らせよう	(７時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①『沖縄戦新聞』８月２２日号の対馬丸沈没の記事や語り部さんのビデオを視聴し、当時の状況を把握する。
②沖縄の地元紙と全国紙を読み比べ、グループ毎に新聞スクラップのテーマを決定する。
③それぞれのテーマに沿って、新聞スクラップ制作に取りかかる。
④学級発表会を行い、学級代表を決定する。
⑤全体発表会を行い、その後、質疑応答することを通して、沖縄戦についての理解を深める。
⑥学習を振り返り、沖縄戦について自分の感想や意見をまとめる。

（留意点）
・分類された10のテーマの中から担当を決定する。
・学級代表選出方法は作品点1点・発表点1点をそれぞれ持ち点として、最も合計点の高いグループを代表とする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・今まで沖縄戦のことは知らなかったけれど、沖縄に住んでいる私たちと同年代の人がどのように感じているかがよく分かった。私たちが、平和を守っていくことがどれだけ大切かを考えさせられた。
・沖縄の人々は自分の子どもや孫達にきちんを沖縄戦のことを伝えていることを知った。

12．成果と課題

・広く深く「受信」することができた
新聞を丹念に読み進める作業を続けていく内に、沖縄戦の全貌が飲み込めてきた生徒達は、今まで以上に平和の尊さを実感したようであった。
・「発信」することの魅力を実感できた
新聞スクラップ作業を通して、制作の楽しさはもちろん、話す力・聞く力だけでなく思考力・表現力が向上してきた。